



# 令和6年度 但馬産業大賞

令和7年3月



審査委員会／令和6年12月9日(月)  
表彰式／令和7年3月7日(金)



兵庫県但馬県民局長  
多田 欣也

## ごあいさつ

但馬地域は、豊かな自然と悠久の歴史・風土に生まれ、高度な伝統技術と先端技術を有するものづくり産業、人々に憩いと安らぎをもたらす観光産業、そして自然の恵みを大切にした農林水産業など、多様な産業が発展してきました。これらの産業は、それぞれが地域の成長を支え、但馬の発展に大きく寄与してきたことは言うまでもありません。

但馬県民局では、地域の産業のさらなる振興を図るべく、独創的な技術を有する事業者、地域資源を有効に活用する事業者、新たな分野へ果敢に挑戦する事業者を顕彰する「但馬産業大賞」を平成19年に創設し、これまで「キラリと世界へ輝く技術部門」30者、「自然と共生する環境創造事業部門」9者、「観光交流資源を活かしたツーリズム部門」29者、「新分野へチャレンジする経営革新部門」20者、計88者を

顕彰してきました。

本年度においては、時代の変化を捉え、従来の表彰部門を再編し、SDGsなどの時代の潮流を反映した取組を評価する「新たな時代の先端を行く事業開拓部門」、さらには働き方改革や多様な人材の社会参画を推進し、誰もが働きたいと思える環境を整える取組を評価する「但馬で働きたい優良企業部門」を新設しました。その結果、但馬の産業活力と地域発展を力強く牽引する5つの事業者が受賞の栄誉に輝かれました。受賞者の皆様に心よりお祝い申し上げます。

受賞された皆様の卓越した取組は、但馬地域の新たな展開において不可欠な要素であり、産業の発展に大いに寄与するものと確信しています。

近年の社会経済情勢に目を向けると、コロナ禍からの回復が進む一方で、ウクライナ情勢等の影響による原材料価格の高騰や人口減少に起因する人材不足などが但馬地域の事業者に大きな影響を及ぼし、地域の産業は依然として厳しい状況に置かれています。このような状況の中であって、但馬の魅力をより多くの方々に知っていただき、「住んでみたい」「暮らしたい」と思われる地域となるためには、但馬の持つ強みをさらに研ぎ澄まし、地域の産業の魅力と競争力を一層高めることが求められます。

但馬県民局としては、特色ある地場産業や観光資源、農林水産資源を活かした経済の活性化、医療・福祉の充実、防災・減災対策の推進など安全・安心で人と自然に優しい生活環境の整備に注力していきます。また、地域コミュニティを主体とした取組の支援、移住・定住の促進など、次世代につながる人づくり・地域づくりにも尽力していきます。

受賞されました皆様におかれましても、事業活動を通じて地域社会の発展に一層ご尽力いただければ幸甚に存じます。

結びに、受賞者の皆様の今後ますますのご発展とご活躍を祈念申し上げるとともに、但馬地域の更なる飛躍を牽引する存在としてご活躍されることを心より期待申し上げます。



審査委員長  
奥田 孝一  
(兵庫県立但馬技術大学大学校長)

## 講 評

今年度も、関係団体からご推薦をいただいた事業者について、7名の審査委員が技術・手法、独創性、地域への貢献度など様々な面から厳正な審査を行いました。

その結果、令和6年度但馬産業大賞は、3部門で5者が受賞されることとなりましたので、ご紹介いたします。

### 「キラリと世界へ輝く技術部門」

#### ○株式会社由利

独自の製造管理システム「フィードバックサイクル・マネジメント」により、自社で一貫して行っている7つの工程「製造・品質管理・販売・顧客管理・修理・プランニング・開発・生産管理」においてそれぞれの部門が意見等をフィードバックし合うことで、細部に配慮した製品設計、品質の向上、材料の有効活用といった、より高品質で顧客のニーズに沿った鞆づくりをしておられます。こうした製造管理体制から廃漁網をアップサイクルして生み出された軽量ランドセルや、一人一人の肩にフィットすることで荷物をいれても軽量感が感じられる技術「ゼロジーフィット」を搭載したバックパックなど、利用者のニーズに沿った鞆づくりの技術が評価されました。「鞆創造により人生を豊かにする」というミッションのもと、国内外において鞆産地豊岡の名前を広げることには貢献しており、今後一層の活躍が期待されます。

## 「新たな時代の先端を行く事業開拓部門」

### ○丸真化学工業株式会社

近年、深刻化する環境問題を背景に、持続可能な社会の実現に向けた取組が求められる中、リサイクル素材に着目し、使用済みペットボトルを再利用した再生ポリエチレン樹脂「RePET's」や米ぬかを配合したバイオマスポリ袋「ヌカエル」、さらに「RePET's」の製造技術を使用しプロ野球の球場で排出されるビールカップ（PET製）のリサイクル事業にも参画するなど、積極的に環境に配慮した製品開発の取り組みを行うことで、地域産業の活性化と環境保全の両立といったSDGsの目標達成に貢献されておられます。現在も新たな取り組みとして、食品工場から排出される卵殻やポリエステル製廃漁網を再利用したポリ袋等へのリサイクルなど、新しい製品作りに取り組んでおり、今後、同社技術の更なる環境への貢献が期待されます。

### ○D.L.P.

但馬地区で育てられた但馬牛が解体される際、従来であれば廃棄されていた皮の部分を活用し、但馬牛革シリーズ「Tajima Cowhide」というブランド商品を考案されました。地元但馬の畜産家、地域の食肉センター、姫路のタンナー、豊岡の鞆メーカーが協力して作成を行う生産システムの確立により、①但馬牛の認知度向上に伴う地元畜産業のPR②廃棄される皮を活用することでサステナブルな商品製造に繋がる③近年減少する国産原皮の供給支援④地域資源の活用により、地域性の高い特産品として関係事業者利益をもたらす⑤売り上げの5%を畜産業界に寄付することで、消費者の購買行為を但馬地域の産業支援に繋げる。という5つの点から、持続可能かつ地域の魅力度向上に繋がる取組として地域社会に貢献していることが大きく評価されました。

## 「但馬で働きたい優良企業部門」

### ○ママキッチン株式会社

特徴として、「ワークライフバランス・女性が活躍できる職場」をコンセプトに設定し、男女隔たりのない人員配置、役職者数の男女平等、残業ゼロの推進、ゆとりを持った人員配置、計画的な有休の取得、作業ラインにおける身体的負荷要因に対する配慮など、働く環境・働き方において、性別にとらわれることなく個性と能力が発揮できることを目指している企業であり、特筆すべき点として、従業員の身体的負荷を軽減するために専用の機械等を導入するなど、男女の分け隔てなく作業ができるよう環境づくりから力を入れて取り組んでいる点が評価され、他の企業の模範となることが期待されます。

### ○モリ・ブランド株式会社

女性活躍や高齢者の雇用促進など多様な人材の社会参加を図っており、その取組として①配置基準を超える人員配置などにより、休暇取得に伴う業務負担の軽減を図り、定時退社・持ち帰り仕事ゼロを実現②多様な休暇制度を整備しており、有給取得率はほぼ100%を達成③短時間勤務制度など、従業員の希望に応じた柔軟な働き方の整備を行うことで、従業員に寄り添った環境づくりを実現していることなどが評価されました。

最後に受賞者の皆様が、受賞を契機にますます研鑽を重ね、更なる飛躍を遂げられますように祈念いたします。講評といたします。

## 令和6年度 但馬産業大賞審査委員会委員

|                   |                |
|-------------------|----------------|
| 兵庫県立但馬技術大学校       | 大学校長 奥田孝一（委員長） |
| 兵庫県立工業技術センター      | 所長 山崎 徹（副委員長）  |
| (公財)ひょうご産業活性化センター | 常務理事 岩原直子      |
| (公社)ひょうご観光本部      | 専務理事 佐伯公宏      |
| 兵庫県北部農業技術センター     | 所長 岩本英治        |
| (公財)但馬ふるさとづくり協会   | 事務局長 井上五郎      |
| 豊岡公共職業安定所         | 所長 谷岡善裕        |

## 株式会社 由利

由利社独自の製造管理システム「フィードバックサイクル・マネジメント」による価値を高める鞆づくり

独自の製造管理システム「フィードバックサイクル・マネジメント」により、自社で一貫して行っている7つの工程「製造・品質管理・販売・顧客管理・修理・プランニング・開発・生産管理」においてそれぞれの部門が意見等をフィードバックし合うことで、細部に配慮した製品設計、品質の向上、材料の有効活用といった、より高品質で利用者のニーズに沿った鞆づくりを行い、「鞆創造により人生を豊かにする」というミッションのもと、国内外において鞆産地豊岡の名前を広げることに貢献している。廃漁網をアップサイクルして生み出された軽量ランドセルや、一人一人の肩にフィットすることで荷物をいれても軽量感が感じられる技術「ゼロジーフィット」を搭載したバックパックなど、今後もノウハウの蓄積を活かした鞆づくりが期待される。



アトリエ NUU 店内



ダレスバッグの製造過程



フィードバックサイクル・マネジメント



ダレスバッグ完成品

### 会社沿革

- 1964年 創業者由利総太郎が実家の金物店から地場産業の鞆製造業に業態変更し創業、豊岡を中心に4か所の分工場を稼働
- 1980年代 国内需要に転換、「ダレスバッグ」を中心としたトラベルを主流に展開。
- 1990年代 日本の将来の縫製者確保に危機感を持ち、1991年香港で合併会社を設立、中国生産をスタート
- 2002年 生産地を東莞から青島に移転、韓国企業と技術提携し、中国生産を拡大
- 2003年 京都府大宮町に自社工場を稼働、国産・海外それぞれの生産のバランスを維持
- 2006年 自社PB「アートフィア」を立ち上げ、OEM生産のリスクヘッジとBtoBからBtoCへの展開を開始
- 2009年 鞆業界としては初のiFデザイン賞を受賞  
同年自社ショップ「アトリエNUU」をオープン
- 2011年 ベトナムダナン市に海外初となる自社工場を設立、通常の委託生産ではできないハイクオリティな製品を製造することに成功
- 2015年 ベトナム工場事業拡大に伴い工場を移転、9000平米の自社工場を設立
- 2017年 ベトナムを基軸とした製品を世界に伝えるため、「アートフィア」の海外展開を目的とした、海外見本市「ニューヨーク展、ミラノ展、香港展」に積極的に出展  
大宮工場で新事業として革財布生産を開始  
鞆から財布まで一貫したデザイン展開が可能になり、商品アイテムを拡張
- 2022年 あんしんカンパニー 2021(豊岡市ワークイノベーション表彰)受賞

### 会社住所

兵庫県豊岡市上陰 164-5  
TEL 0796-23-5201 FAX 0796-24-3607  
E-mail: [information@yurikk.com](mailto:information@yurikk.com)  
HP: <https://yurikk.com/company/>



## 丸真化学工業 株式会社

環境配慮型包装材の開発による、持続可能な資源循環型社会への貢献企業

近年、深刻化する環境問題を背景に、持続可能な社会の実現に向けた取組が求められる中、リサイクル素材に着目し、使用済みペットボトルを再利用した再生ポリエチレン樹脂「RePET's」や米ぬかを配合したバイオマスポリ袋「ヌカエル」、さらに「RePET's」の製造技術を使用しプロ野球の球場で排出されるビールカップ（PET製）のリサイクル事業にも参画するなど、積極的に環境に配慮した製品開発の取り組みを行うことで、地域産業の活性化と環境保全の両立といったSDGsの目標達成に貢献している。現在も新たな取り組みとして、食品工場から排出される卵殻やポリエステル製廃漁網を再利用したポリ袋等へのリサイクルなど、新しい製品作りに取り組んでおり、今後、同社技術の更なる環境への貢献が期待される。



製品加工工程



RePET's



漁網を再利用した商品



米ぬかを再利用した商品



卵殻を再利用した商品

### 会社沿革

|       |     |                                   |                               |
|-------|-----|-----------------------------------|-------------------------------|
| 昭和40年 | 7月  | 豊岡市百合地に丸真商事創業                     | ポリエチレン袋の製袋加工及び販売を開始           |
| 昭和45年 | 7月  | 豊岡市百合地に工場新築                       | ポリエチレンフィルムの製造、印刷を開始 一貫生産体制の確立 |
| 昭和49年 | 1月  | 豊岡市今森570番地に工場新築                   | 百合地より移転                       |
| 〃     | 2月  | 法人設立                              | 丸真化学工業株式会社 資本金500万円           |
| 昭和54年 | 10月 | 豊岡市今森560番地に第1工場新築                 |                               |
| 平成2年  | 7月  | 第1工場増築                            |                               |
| 平成3年  | 10月 | 資本金を1,000万円に増資                    |                               |
| 平成7年  | 6月  | 豊岡市今森に物流センター新築                    | 入出庫作業の自動化の導入                  |
| 平成14年 | 9月  | 豊岡市今森に第2工場(印刷工場)新築                |                               |
| 平成19年 | 12月 | 日星産業株式会社と資本提携締結                   |                               |
| 平成21年 |     | ペットボトルを再利用したポリエチレン袋「RePET's」の取扱開始 |                               |
| 平成22年 | 4月  | 豊岡市今森に第3工場(製袋工場)新築                |                               |
| 平成22年 | 6月  | ザ・パック株式会社と資本提携締結                  | 資本金を1,500万円に増資                |
| 平成23年 |     | 米ぬかを配合したポリエチレン袋「ヌカエル」の取扱開始        |                               |
| 令和元年  | 11月 | 豊岡市今森に第4工場(製袋工場)新築                |                               |
| 令和6年  |     | 漁網を再利用したポリエチレン袋「RePET's FN」の取扱開始  |                               |

### 会社住所

兵庫県豊岡市今森 570  
TEL 0796-23-5105 FAX 0796-23-7828  
E-mail: info@marushinkagaku.co.jp  
HP: <https://www.marushinkagaku.co.jp/>



## D.L.P.

地域資源と地域技術を活用した但馬地域の2大特産品のコラボ商品の開発・製造販売。公的機関の認定を受けたサステナブルでSDGsに繋がる、関わるもの全てが幸せになる生産プロセス

但馬地区で育てられた但馬牛が解体される際、従来であれば廃棄されていた皮の部分を活用し、但馬牛革シリーズ「Tajima Cowhide」というブランド商品を考案。地元但馬の畜産家、地域の食肉センター、姫路のタンナー、豊岡の鞆メーカーが協力して作成を行う生産システムの確立により、①但馬牛の認知度向上に伴う地元畜産業のPR②廃棄される皮を活用することでサステナブルな商品製造に繋がる③近年減少する国産原皮の供給支援④地域資源の活用により、地域性の高い特産品として関係事業者に利益をもたらす⑤売り上げの5%を畜産業界に寄付することで、消費者の購買行為を但馬地域の産業支援に繋げる。という5つの点から、持続可能かつ地域の魅力度向上に繋がる取組として地域社会に貢献している。



tajima cowhide シリーズ



シリーズ商品には  
刻印つき



なめし加工・染色



但馬牛の皮を分別して厳格に管理



取組が評価され様々な認定・認証を受ける



内装は但馬の牧草地をイメージしたグリーン

### 会社沿革

- 2015年 革裁断業として起業
- 2017年 革製品のOEM生産開始
- 2019年 オリジナル商品の生産開始
- 2019年 パティーストートバッグが五つ星ひょうごに選定
- 2020年 防水革製小袋が五つ星ひょうごに選定
- 2021年 防水革薄型肩掛袋が五つ星ひょうごに選定
- 2022年 撥水ヌバックボディーバッグが五つ星ひょうごに選定
- 2023年 Tajima Cowhideの取り組みがひょうご産業SDGs認証事業スタンダードステージ・ソーシャル企業認証制度(S認証)・豊岡市環境経済事業に認証、認定
- Tajima Cowhide ボディーバッグが五つ星ひょうごに選定
- 2024年 Tajima Cowhide 二つ折りウォレットが五つ星ひょうごに選定

### 会社住所

兵庫県豊岡市大磯町 4-5  
TEL 0796-20-7148 FAX 0796-20-2458  
E-mail: doka.leather.processing@gmail.com  
HP: <https://dlp-toyooka.jp/>



## ママキッチン 株式会社

ジェンダーギャップ平等を実現するための会社づくり ～おもいやり、そしてゆとり～

但馬で育てた鶏肉を主な材料にし、フリーズドライペットフード加工を専門とした日本初の製造工場として令和 3 年に創業し、付加価値の高いプレミアムペットフードの生産を行っている。

企業の特徴として、「ワークライフバランス・女性が活躍できる職場」をコンセプトに設定し、男女隔たりのない人員配置、役職者数の男女平等、残業ゼロの推進、ゆとりを持った人員配置、計画的な有休の取得、作業ラインにおける身体的負荷要因に対する配慮など、働く環境・働き方において、性別にとらわれることなく個性と能力が発揮できることを目指している企業であり、特に大きな特徴として、従業員の身体的負荷を軽減するために専用の機械等を導入するなど、男女の分け隔てなく作業ができるよう環境づくりから力を入れて取り組んでおり、他の企業が働く環境づくりや働き方を考えるにあたり大きな模範となるものである。



男女問わず活躍できる職場づくりを実現



工場内観



会議の様子



ペット用のフリーズドライペットフードを販売

### 会社沿革

2020年8月 ママキッチン株式会社  
2021年1月 本社朝来市柿坪に移転  
朝来第一工場操業開始

### 会社住所

兵庫県朝来市山東町柿坪 83-15  
TEL 079-666-8610 FAX 079-676-2015  
E-mail:k-yamamoto@mamakitchen.biz  
HP:http://www.mamakitchen.biz



## モリ・プランズ 株式会社

定時退社・持ち帰り仕事ゼロ、みんなが心地よく働ける、働きがいのある事業所

女性活躍や高齢者の雇用促進など多様な人材の社会参加を図っており、その取組として①配置基準を超える人員配置などにより、休暇取得に伴う業務負担の軽減を図り、定時退社・持ち帰り仕事ゼロを実現②多様な休暇制度を整備しており、有給取得率はほぼ100%を達成③短時間勤務制度など、従業員の希望に応じた柔軟な働き方の整備を行うことで、従業員に寄り添った環境づくりを実現していることなどがあげられる。女性活躍や高齢者の雇用促進にも積極的に取り組むことで従業員にとって働きたいと思える職場環境を築いており、その結果がスタッフを対象に行ったアンケート結果にも表われるなど、従業員ファーストの職場づくりが大きく評価されている。



保育事業の様子



イベントをSNSで発信



職員の誕生日をみんなで祝い



地域のイベントに参加



職員同士の研修旅行の様子（ミラコスタ）

### 会社沿革

- 2007年 設立
- 2007年 企業向け保育園「ビエネスター子供園」開設
- 2017年 ビエネスター子供園を「カバンストリート保育園」(豊岡市小規模保育事業認可)として新開設
- 2020年 「ここのとりの森保育園」(豊岡市小規模保育事業認可)開設
- 2021年 「児童発達支援・放課後等デイサービス スローウォーク」開設
- 2022年 あんしんカンパニー 2021(豊岡市ワークイノベーション表彰)受賞
- 2022年 ひょうご仕事と生活の調和推進企業 宣言企業登録
- 2023年 ひょうご女性活躍推進企業
- 2023年 ミモザ企業認定
- 2023年 ひょうご仕事と生活の調和推進企業認定
- 2024年 ひょうご仕事と生活の調和表彰企業受賞

### 会社住所

兵庫県豊岡市中央町 18-8  
 兵庫県豊岡市城南町 13-13(本部事務所)  
 TEL 0796-37-8881 FAX 0796-34-6808  
 E-mail: moristaff.jim@gmail.com  
 HP: <https://mori-plans.co.jp/>



## 歴代の受賞者

### 平成19年度

#### 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

##### 株式会社 ビトーアールアンドディー

レース用オートバイホイール(鍛造マグネシウム製)の開発、製造、販売

##### マルヨ食品 株式会社

但馬を代表する水産物ホタルイカの醤油漬けを開発

##### 中田工芸 株式会社

高級衣料品店等で使用される木製ハンガーの製造・販売

#### 区分 人と自然の共生する事業部門

##### 有限会社 夢大地

環境創造型・雇用型農業として、未来を展望したモデル農場

#### 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

##### 但東町花弁球根園芸組合

特産品を活用したチューリップまつりの開催で地域を活性化

##### 農家民宿「八平だるま」能勢 勇

グリーンツーリズム特区制度を活用した農家民宿の経営

##### たけの観光協会

愛犬専用ビーチの開設による新たな観光需要の開拓

##### 浜坂観光協会

歴史、文化、産業等の知識を持つカニ専門家「カニソムリエ」の養成

### 平成20年度

#### 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

##### 日本精機宝石工業 株式会社

工業用ダイヤモンドの研磨、焼結技術を独自に開発し、精密工具を製造

##### 但馬ティエスケイ 株式会社

冷間鍛造により100mmを超える中空形状に加工できる技術を開発

##### 株式会社 オーク

廃タイヤを利用した振動伝播阻止法(Ti-TAN工法)を開発

##### 株式会社 トキワ

但馬の特産品を活かした調味料やワイン、梅飲料等の製造・販売

##### 吉田体機工業 株式会社 養父工場

競技用体操器具(トランポリン等)の製造・販売

#### 区分 人と自然の共生する事業部門

##### 有限会社 清美社

地域一帯となったリサイクル事業(廃油をバイオディーゼル燃料に活用)

##### 神鍋白炭工房 田沼茂之

白炭製造の省力化・量産化設備の開発

#### 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

##### 但熊 西垣源正

卵かけごはん専門店「但熊」の運営による地域の活性化

##### 但馬高原植物園

17haの敷地に、1,000種の自生植物を有する植物園

##### 香住観光協会

カニ検定を実施し、「カニの本場カニのまち香住」を全国にPR

##### 湯村温泉若女将会 ゆむらなでしこ

旅館同士連携して、若女将会「ゆむらなでしこ」を結成し観光PR

### 平成21年度

#### 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

##### 富士発條 株式会社

世界最先端分野の超精密金属部品の研究・開発・製造

##### 株式会社 東豊精工

電子部品・医療機器向け世界最小クラスのマイクロスプリングの設計・開発と量産化

##### 香住鶴 株式会社

伝統的な酒母造り(生酛・山廃酛)にこだわり世界に通用する味を追求

#### 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

##### NPO法人 ハチ高原・氷ノ山自然体験村

自然体験活動で、生きる力と夢を育む力の増進

##### 香美町村岡観光協会

ひょうご名物ガイドも輩出した、真心を込めたおもてなしのツーリズム

##### 生活工房香味煙 井上利夫

燻製独特の色と香りにこだわった自然派無添加の手作りハムの製造

### 平成22年度

#### 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

##### 美岡工業 株式会社

大型・小型・精密部品とあらゆるニーズに応え世界に通ずる加工技術の確立

##### 株式会社 オーシスマップ

地図をベースにより良いまちづくり、福祉・防災における安心情報の提供

##### 和田山精機 株式会社

超硬合金製冷間鍛造技術の開発により、世界最高水準の金型寿命と高精度の実現

#### 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

##### 城崎このさき100年会議

城崎温泉の新たなおもてなし「ゆめば」の導入

##### 和佐父集落西ヶ岡棚田保全維持会

棚田の景観保全や棚田を活用した体験交流による地域の活性化

平成23年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 タクミナ 生産本部 総合研究開発センター

高精度等速度カムにより、脈動を発生させない「スムーズフローポンプ」を開発し、最新の流体移送技術を確立

株式会社 誠工社

薄物媒体搬送技術における高度な技術ノウハウと部品集約システムを確立

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

株式会社 田中屋食品

品質の高い出石そばを商品化し、独自性のあるマーチャンダイジングを展開

大徳醤油 株式会社

地元農業者と連携して新商品開発に取り組むなど、農商工連携における地域のリーディングカンパニーとして活躍

平成24年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 多田スミス

鋳造技術レベルの向上を目的としたダイカスト技能士資格取得の促進により、各製品毎の最適な鋳造条件の設定等幅広い知識に基づく理論と実技の両輪で、品質及び生産効率の向上を実現

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 げんぶ堂

コウノトリの野生復帰に取り組む但馬地域で、6次産業を観光に生かし地域資源と一体となった観光誘客を推進

全但バス 株式会社  
やぶ市観光協会

地域活性化を目的とした継続的な住民参加型ツーリズム、「但馬・やぶ四季体感ツアー」の実現

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

有限会社 マジック

昇華転写システム構築への取組により、色調管理等のデジタル化による一貫した品質管理に基づくデザインからプリント、縫製までの製作工程の内製化を実現

株式会社 但馬寿

地域産物・伝統技法を活用した製品開発、地域産品の販売や、情報発信機能を合わせ持つ「ゆむら屋」の運営とともに、「地域ブランドソング」も製作・活用し、自社・OB・地域一体となった経営を推進

平成25年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

東海パネ工業 株式会社(豊岡神美台工場)

熟練職人の作り込みを再現した熟間コイリングマシン「YU-KI」の開発・導入などにより、多品種微量受注生産の「高品質ばね」を全国・世界へ発信

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

日和山観光 株式会社

ジオパークの楽しみ方“見る・食べる・学ぶ”を具体化した「日和山海岸ガイドセンター」の展開をはじめ、ソフト・ハード両面から先導的・積極的なジオパーク活動を推進

明延鉱山ガイドクラブ

「このままでは鉱山の歴史を伝えられなくなる」との思いを胸に、日本の近代化を支えた産業遺産・明延鉱山の魅力を次代に伝える取組を展開

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

株式会社 コンゴプロダクツ

昇華転写プリントをホワイトボードへ施した、書いても、消しても転写が剥がれない!「サブリメイトボード」の開発

カタシマ 株式会社

但馬の豊かな自然が育んだ地域産業資源(どぶろく)を活用した日本と欧州の食文化の融合商品「どぶロック」の開発をはじめ、多様な地域連携商品を展開

平成26年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 川嶋建設

高強度炭素繊維を使用した木造建築・耐震補強リフォーム専用工法「耐震ブレースX」の開発により、耐震工事の工期短縮とコストダウンを実現

有限会社 ノザキ

加工の難しい超硬合金などの研削加工技術で精度の限界に挑戦し続け、他社が真似できない困難な加工や1ミクロン単位の公差にも対応

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 グリーンウィンド  
道の駅「但馬のまほろば」

「但馬の東の玄関口」として、但馬全域の観光情報発信や特産品販売・PRを行い、交流人口の増加に貢献

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

農業生産法人 株式会社 Teams

耕作放棄地の再生による循環型農業と6次産業化で地域の農業ビジネスを開拓

株式会社 サン・ウォーター

兵庫県の最高峰、氷ノ山山系の地下200mから湧き出た水を利用した非加熱天然水を製造販売し地域活性化を推進

平成27年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

新生化学工業 株式会社 豊岡事業部

培ったシール技術のノウハウで高品質・低価格な精密プラスチック二色成形品の供給に成功

此の友酒造 株式会社

元禄3年より受け継がれる伝統的な醸造技術による高品質な日本酒で全国新酒鑑評会2年連続金賞を受賞

区分 自然と共生する環境創造事業部門

コウノトリ育むお米 生産部会

コウノトリとの共生を目標に無農薬栽培、減農薬栽培による「コウノトリ育む農法」を推進し、環境と経済が両立しうる事例として国内外に広く発信

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 湯村温泉 愛宕山観光

四季折々の豊かな自然環境を活用した商品開発やスポーツ少年団合宿誘致等で交流人口拡大の貢献

株式会社 Mother Earth

カヌー、サップボードを活用したマリナクティビティのマルチ化により海水浴シーズン外での観光誘客を推進

## 区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

### 八鹿鉄工 株式会社

製造業から農業への進出により新たな農業のスタイルを確立し、高糖度トマトの安定栽培を実現

## 平成28年度

## 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

### 二方蒲鉾 株式会社

地場の魚は旨かった。温故知新の精神で製品「濃香アゴ短冊」を開発し、平成28年全国蒲鉾品評会最高賞受賞

## 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

### 一般社団法人 ハチ北高原自然協会

協会設立以来50年間にわたり観光事業を通じ宿泊客の誘致に努め、村岡区の発展に大きく寄与

## 区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

### 株式会社 西村工務店

体験交流型観光の開発・提供により観光産業に参入し、観光産業の発展に貢献

## 平成29年度

## 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

### 田治米 合名会社

「一粒の米にも無限の力あり」の理念のもと、純米酒に特化した酒造りと海外への販売展開

## 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

### 若杉高原開発企業組合

星空ハイキングをはじめ、ファミリー向け企画でここだけの体験を提供する「四季型スキー場」

### 有限会社 さだ助

山陰海岸ジオパークの豊かな海の幸を様々な形で提供する新たな観光拠点KAN-ICHI

## 区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

### 有限会社 石橋設計

不動産会社による映画館の復活と施設を有効利用した地域コミュニティスペースとビジネス空間の創出

### 株式会社 谷常製菓

農業参入への新たなチャレンジ。自社栽培イチゴを活用した新ブランド「完熟いちご菓子研究所」の取組み

## 平成30年度

## 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

### 株式会社 オフテクス(豊岡工場)

世界初のポビドンノードを使用したコンタクトレンズのケア用品の開発

## 区分 自然と共生する環境創造事業部門

### JAたじま 出石フクノハナ生産部会

全国唯一(オンリー・ワン)の酒造好適米「フクノハナ」の生産

### JAたじま つちかおり米協議会

安全安心なお米と消費者交流の礎となった「つちかおり米」の生産

## 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

### 株式会社 ハマダセイ

地元魚介類を活用した新商品で、5年連続「五つ星ひょうご」に選定

## 区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

### キヌガワ 株式会社

鞆のクリーニングから修理までアフターメンテナンスに一貫して対応

### 有限会社 花房商店

醤油製造で培った技術を活用した新たな発酵食品ブランドの開発

### 但馬漁業協同組合

但馬の豊かな魚資源を活用した「麺の魚醤」など自社ブランドの商品の開発

## 令和元年度

## 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

### 大豊機工 株式会社

高度なもののづくりを支える職人技「きさげ」を用いた信頼性の高い製品づくり

### やくの麺業 株式会社

飲食店や農業団体のニーズに応じた「別注麺」の開発

## 区分 自然と共生する環境創造事業部門

### 株式会社 キヅキ商会

非常時の備えとなる環境に優しい太陽光発電を雪深い但馬地域でも推進・普及

## 区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

### ナカバヤシ 株式会社 兵庫工場

農業参入により雇用の維持と本業の技術継承を実現

## 令和2年度

## 区分 自然と共生する環境創造事業部門

### 株式会社 北星社

環境に優しい素材を用いた印刷物の製作並びに環境問題への取り組み

## 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

### かすみ海上タクシー事業協同組合

小型漁船を活用した遊覧事業の創出と異業種組合員との観光・経済振興への期待

### あまるべ振興会

山陰海岸ジオパークの中心で、地元観光資源を活用した住民主体の地域活性化

## 令和3年度

### 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

#### 株式会社 協漁具製作所

漁師のニーズに応えた新ソデイカ針と釣り向け新タイプブルーの開発

#### 株式会社 システムリサーチ

コロナ禍でも先生が子どもたちに寄り添える「オンラインの教材配信システム」を開発！

### 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

#### マルヤ水産 株式会社

山陰海岸ジオパークで育まれた「香住ガニ」の商品開発と販路拡大により地域活性化に貢献

### 区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

#### 大徳醤油 株式会社

天然醸造の手作り醤油キットの販売による、養父市から全国へ伝統技術の発信

#### 日の出ホールディングス 株式会社 食品カンパニー但馬醸造所

コロナ禍を契機としたスピーディな新商品開発による地域貢献

## 令和4年度

### 区分 キラリと世界へ輝く技術部門

#### 株式会社 土居工作所

複雑形状の切削加工に応える技術と多品種少量生産での無人自動生産システムの自社開発

### 区分 自然と共生する環境創造事業部門

#### 株式会社 白バラドライ

中学校跡の施設を活用した寝具・テントなどの大型クリーニングと保管に特化した省エネ工場の操業

### 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

#### 株式会社 たびぞう

環境配慮と地域活性化という新しい視点で参加者自らが創りあげる旅のカタチ【城崎ぶちたび】の開発

### 区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

#### 兵庫県鞆工業組合

廃漁網を創造的再利用した素材生地を用いた「豊岡鞆」事業を新たに展開

## 令和5年度

### 区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

#### 生野高原リゾート

かつて関西の軽井沢と呼ばれた時代の『生野高原リゾート』復活を目指した取り組み

### 区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

#### 但馬米穀 株式会社

閉校となった小学校跡地を活用したスマート農業の普及及びキャンプ・グランピング事業による地域創生事業へのチャレンジ



兵庫県但馬県民局  
県民躍動室地域振興課

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町7-11 TEL 0796-26-3685

06但馬02-007A4